

# 厳しさを増す 国民健康保険事業

— ご理解とご協力を —

国民健康保険制度は、加入者がそれぞれの収入に応じて日頃からお金を出し合い、必要な費用にあてようという、相互扶助を目的とした制度です。

しかし、国民健康保険事業は、年々増え続ける医療費負担のため、運営上、非常に厳しい状況となっています。

特に最近の医療費の伸びは著しいものがあり、このままの状態が続くと国民健康保険事業はもちろん、市財政におよぼす影響も少なくありません。  
今月は国民健康保険事業について考えてみましょう。

## 健康保険

### 国民健康

#### 保険とは

私たちは、いつ病気やケガに襲われるかわかりません。たったひとりの病人で、その家庭は暗くなり、多額の医療費負担に家族みんなが苦しまなければなりません。

そのようなときのために、日頃から収入に応じてお金を出し合い備えようという助け合いの精神から生まれたのが「健康保険」です。  
会社や役所などに勤めている人は、健康保険、共済組合、船員保険などに加入していますが、それ以外の人はすべて

国民健康保険に加入しなければなりません。

国民健康保険事業は「国民皆保険」（誰もがどれかの医療保険に加入する）を支えるなくてはならない制度です。

## 医療費急増

### 追いつかない

#### 保険料

最近の国民健康保険事業の状況をみますと、加入者は約七千六百人、三千百世帯で、全市民の約三五%を占めています。

表一を見ますと、医療費等支出総額は、昭和五十八年度の七億二千四百万円だったの

に対して、五十九年度には七億六千九百万円と、約四千五百万円、五十九年度から六十年にかけては、一挙に一億四千七百万円も増えています。  
このように医療費は急激な増加を示しています。

## 三年で二倍

### 市からの

#### 繰入金

ここで注目していただきたいのは、市からの繰入金です。表一でおわかりのように、五十八〜五十九年度は一千万円増、五十九〜六十年には一挙に五千万円も増え、一億二千万円になってしまいました。わずか三年の間に二倍にもなってしまったのです。

ところで、市からの繰入金とは何かご存じでしょうか？  
国民健康保険事業は、本来

表一 国保会計の決算状況 (単位：千円)

○歳入							○歳出						
年度	保険料	国支等 出金	市支 入金	繰入金	繰越金	その他	合計	年度	総務費	医療費 支出	施設 費	その他	合計
58	249,073	430,269	60,000	1,535	1,915	742,792	58	32,824	688,870	1,079	1,443	724,216	
59	262,851	453,644	70,000	18,576	2,113	807,184	59	30,892	730,906	1,684	5,488	768,970	
60	277,671	464,207	120,000	38,214	20,283	920,375	60	32,295	842,235	2,035	39,106	915,671	